

令和5年4月1日 現在

古川武彦の学歴・略歴など

1. 学歴など

1940年生、滋賀県米原市、理学博士（九州大学、「山岳波」について）
1956年—1959年：滋賀県立彦根東高校
1959年—1961年：気象庁研修所高等部（現気象大学校）
1967年—国家公務員試験（上級職）合格
1968年：東京理科大学理学部物理学科卒業

2. 主な経歴

1961年—1962年：大阪管区气象台
1962年—1964年：潮岬測候所
1964年—1982年：気象研究所台風研究部 研究官、主任研究官
この間、1975年—1976年：米国大気研究所（NCAR）留学
1982年—1984年：運輸省大臣官房海洋課出向、調査官
1984年—1989年：気象庁観測部・予報部、補佐官
1989年—1991年：福岡管区气象台技術部長
1991年—1994年：気象庁航空気象管理課長
1994年—1997年：気象庁予報部予報課長
1997年—1999年：札幌管区气象台長
1999年—2003年：(財)気象協会参与
2003年～「気象コンパス」立ち上げ
2013年 瑞宝小授賞
2020年～「気象寺子屋」立ち上げ

この間、ICAO（国際民間航空機構）総会（バンコク）出席（副議長）、JICA無償技術援助プログラム（ラオス、モンゴル、フィジー）参加。早稲田大学・中央大学・東邦大学で講師（非常勤）

現在、「かしま灘楽習塾（鹿嶋市）」、「千葉シニア自然大学」、「敬愛大学（千葉市）」で気象の講座を担当。過去、「鹿嶋市報」、「茨城新聞」、「朝日新聞」などで「天気コラム」を執筆。

(以上)